

# 第114回 定時株主総会

2018年9月27日

株式会社 アルバック

# 第114期事業報告、連結計算書類 及び計算書類の内容のご報告

**数値：億円単位**

**(小数点以下は四捨五入)**

# 事業報告

## 1. 企業集団の現況

### (1) 当事業年度の事業の状況

# ①事業の経過及び成果

## 経済の状況

### ▶日本

- ◆設備投資が緩やかに増加し、企業収益が改善するなど、緩やかに回復してきました。

### ▶米国

- ◆個人消費や設備投資の増加などにより景気の回復が続いてきました。

# ①事業の経過及び成果

## 経済の状況

### ▶ 欧州

- ◆消費が増加し、生産や輸出が持ち直すなど、景気は緩やかに回復してきました。

### ▶ 中国

- ◆各種政策効果もあり、景気に持ち直しの動きが続いてきました。

# ① 事業の経過及び成果

## 市場環境

### ▶ エレクトロニクス市場

◆ データセンター向けサーバー需要の増加等によるメモリ需要の拡大を受け、半導体メモリメーカーにおける設備投資が増加しました。

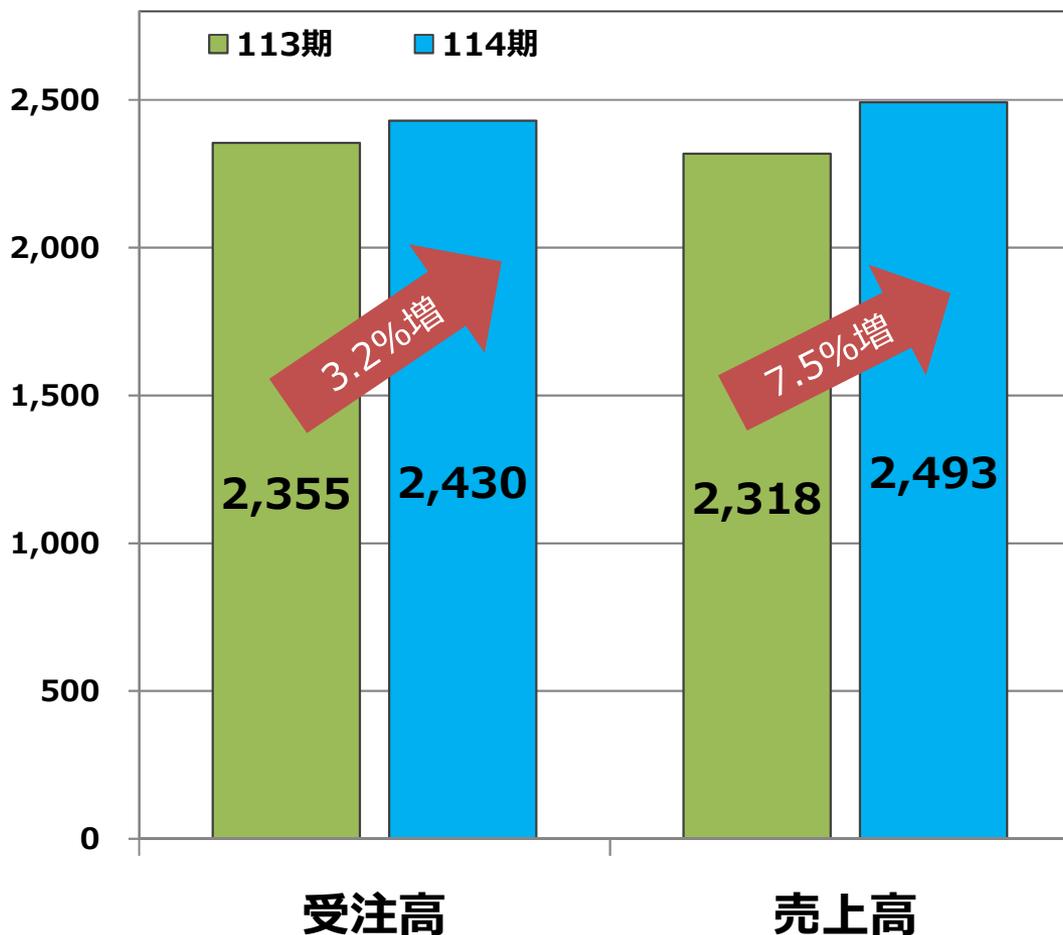
### ▶ フラットパネルディスプレイ（FPD）業界

◆ テレビ用パネルの大型化、高精細化が進み、大型液晶パネル製造向けの設備投資が中国を中心として拡大し、スマートフォン向け有機ELパネルの設備投資とともに高水準で推移しました。

# ①事業の経過及び成果

## 第114期業績（連結）

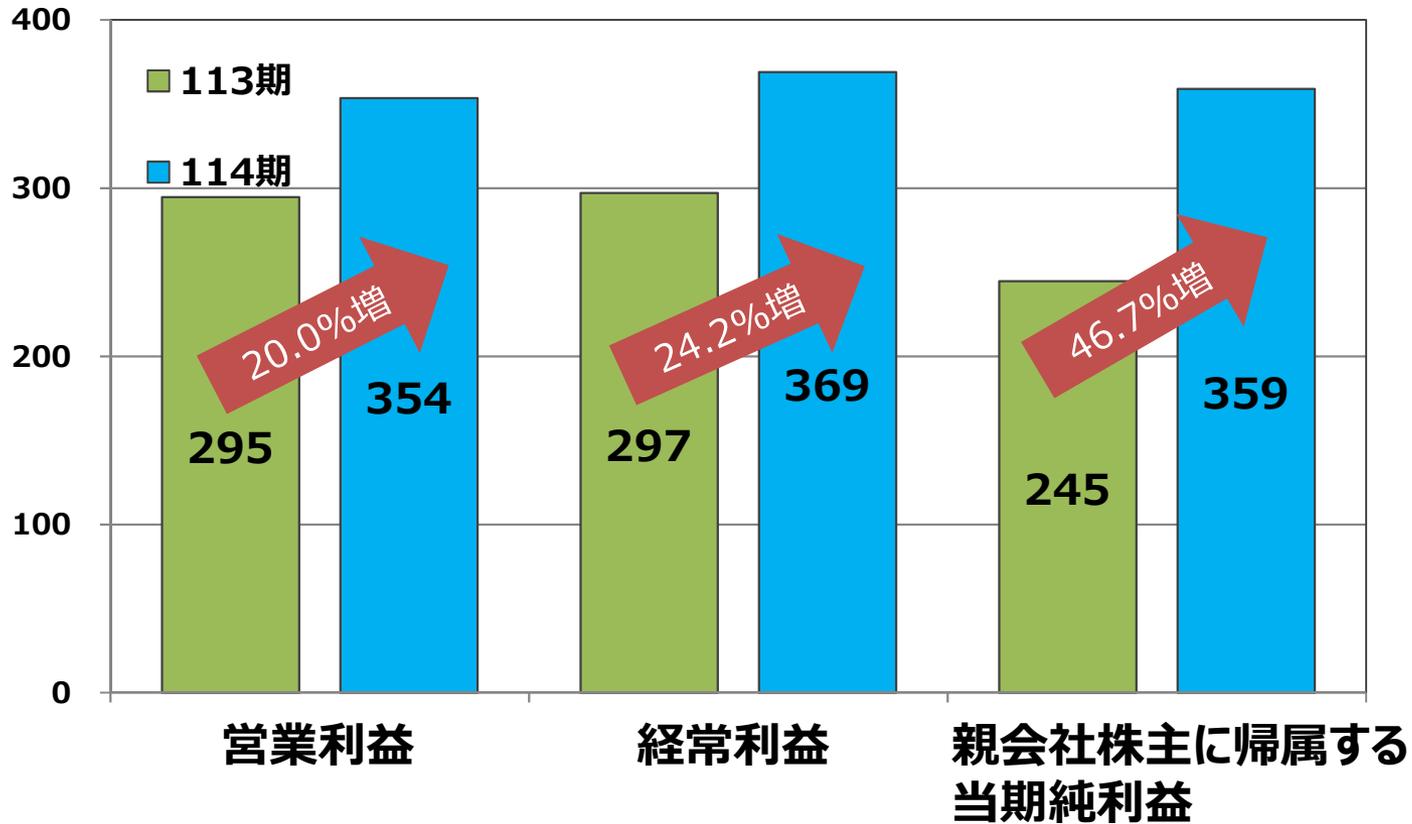
【単位：億円】



# ① 事業の経過及び成果

## 第114期業績（連結）

【単位：億円】



# ①事業の経過及び成果（事業区分別） 真空機器事業（1）

## ■ FPD及びPV製造装置

- ▶中国を中心としたテレビ向け大型液晶製造装置やスマートフォン向け中小型有機EL製造装置などの受注をしましたが、下半期の受注が一時的に低調となった影響で、前期を下回りました。
- ▶売上高は堅調に推移し、前期並みとなりました。



液晶ディスプレイ製造装置  
(スパッタリング装置)



有機EL製造装置  
(真空蒸着装置)

# ① 事業の経過及び成果（事業区分別）

## 真空機器事業（2）

### ■ 半導体及び電子部品製造装置

- ▶ 半導体関連は、メモリ向け投資の拡大に伴い、NANDフラッシュメモリやDRAM、次世代不揮発性メモリ向けのスパッタリング装置や自然酸化膜除去装置が増加し、電子部品関連は、モバイル機器向け高機能デバイス製造装置などが堅調に推移し、受注高、売上高とも前期を大幅に上回りました。



半導体製造装置  
(スパッタリング装置)



MEMSデバイス成膜装置  
(スパッタリング装置)

# ① 事業の経過及び成果（事業区分別）

## 真空機器事業（3）

### ■ コンポーネント

- ▶ 有機EL製造装置に搭載するクライオポンプをはじめ、FPD、半導体、電子部品業界や自動車関連向け真空ポンプや計測機器が堅調に推移し、受注高、売上高ともに前期を上回りました。



ドライポンプ



クライオポンプ



小型真空ポンプ

# ①事業の経過及び成果（事業区分別）

## 真空機器事業（4）

### ■ 一般産業用装置

- ▶自動車部品製造用真空熱処理炉や漏れ検査装置などを中心に受注高、売上高ともに前期を上回りました。



自動車部品用真空熱処理炉



ヘリウム  
リークテスト装置



凍結真空乾燥装置

# ① 事業の経過及び成果（事業区分別）

## 事業セグメント別実績 （真空機器事業）

【単位：億円】

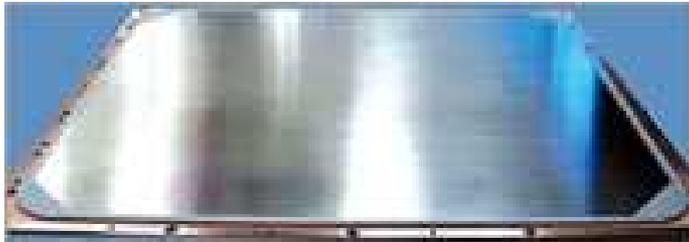
事業セグメント	当期受注高		当期売上高		当期営業利益		期末受注残高	
		前期比 (%)		前期比 (%)		前期比 (%)		前期比 (%)
真空機器事業	2,097	102.2	2,167	108.0	324	120.7	942	93.1
真空応用事業	333	109.7	326	104.4	30	113.7	58	112.5
合計	2,430	103.2	2,493	107.5	354	120.0	1,000	94.0

【百万円単位で計算後、四捨五入】

# ①事業の経過及び成果（事業区分別） 真空応用事業（1）

## ■ 材料

- ▶ 主に液晶ディスプレイ用スパッタリングターゲットを中心に受注高、売上高ともに前期を上回りました。



液晶ディスプレイ用  
スパッタリングターゲット材料



半導体用  
スパッタリングターゲット材料

# ①事業の経過及び成果（事業区分別）

## 真空応用事業（2）

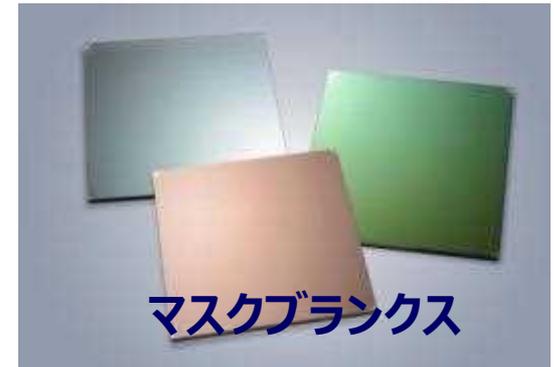
### ■ その他

#### ▶ マスクブランクス関連

高精細、高機能ディスプレイパネルや車載及び産業用半導体需要の増加を受け、受注高、売上高ともに概ね堅調に推移しました。

#### ▶ 分析機器関連

分析機器関連の売上高は前期に対しては低調な結果となりました。



# ①事業の経過及び成果（事業区分別）

## 事業セグメント別実績 （真空応用事業）

【単位：億円】

事業セグメント	当期受注高		当期売上高		当期営業利益		期末受注残高	
		前期比 (%)		前期比 (%)		前期比 (%)		前期比 (%)
真空機器事業	2,097	102.2	2,167	108.0	324	120.7	942	93.1
真空応用事業	<b>333</b>	<b>109.7</b>	<b>326</b>	<b>104.4</b>	<b>30</b>	<b>113.7</b>	<b>58</b>	<b>112.5</b>
合計	2,430	103.2	2,493	107.5	354	120.0	1,000	94.0

【百万円単位で計算後、四捨五入】

## ②設備投資の状況（主なもの）

**設備投資の総額：129億円**

主な設備投資の内容	会社名
<p>半導体及び電子部品製造装置事業、 FPD及びPV製造装置事業の 評価用機械装置や研究開発用機械装置等</p>	<p>(株)アルバック</p>

### ③ 資金調達の状態

#### ■ 資金調達

当連結会計年度は、新株式の発行等による資金調達は行っておりません。

#### ■ 借入金の総額

総額 357億円

(前連結会計年度末比70億円減少)

## (2) 直前3事業年度の財産及び損益の状況（連結）



■売上高 創業来最高

■利益項目 3期連続で最高益を更新

# (3) 重要な子会社等の状況

# (4) 対処すべき課題

### ▶ 2020年6月期までの3ヶ年中期経営計画実現に向け、

- ・真空技術の総合利用と装置・材料・成膜加工・分析・サービスのシナジー効果の最大化
- ・グローバルなビジネスパートナーとの連携による高い収益性の企業経営
- ・次の飛躍のための人づくり、果敢に挑戦する企業文化構築

を推進してまいります。

## 具体的な取り組み

### (1) 経営基盤の強化

#### ① 人財の育成【事業推進力アップ】

- ・ 次世代経営幹部の育成
- ・ グローバルな人財登用・育成

#### ② グループ連携の深化【ものづくり力アップ】

- ・ グローバルな開発・調達・生産体制の強化とコストダウン
- ・ 研究開発投資の拡大（3年間で500億円程度）
- ・ グローバル市場・技術戦略の加速

#### ③ 情報基盤の整備【状況判断力アップ】

- ・ ITの活用による情報収集・管理の効率向上

#### ④ 財務体質の強化【成長投資力アップ】

- ・ 自己資本比率改善等の財務体質の更なる強化

## (2) 重点戦略

### ① 成長事業の推進

- ・ F P D事業の盤石化
- ・ 半導体・電子機器事業の強化
- ・ グローバル展開による事業成長の推進

### ② 価値創造力の向上

- ・ マーケティング強化と独創的な技術・商品開発
- ・ グローバルな調達・生産体制強化とコストダウン

## (3) 成長戦略

- ① 半導体事業はメモリとロジックの両輪で成長
- ② 電子機器事業は5Gで加速する技術革新を  
ビジネスチャンスに成長
- ③ FPD・PV事業は大型TV・OLED投資を中心に  
長期的継続投資に対応
- ④ コンポーネント・マテリアル・カスタマーサポート事業の  
成長（安定基盤）
- ⑤ 中国市場における成長

# (4) 対処すべき課題

## (4) 数値目標

- 2019年6月期以降も、中期経営計画で掲げる「経営基盤の強化」や「重点戦略」などの計画骨子に変更はありませんが、計画目標値の上方修正を行いました。

### 2020年6月期数値目標

売上高2,650億円

営業利益380億円

営業利益率14%

- 中期経営計画に続く次の飛躍に向けた「経営改革」に取り組みます。

### 2023年6月期の目指す姿

売上高3,000億円

営業利益率16%

**株主の皆様におかれましては、今後とも  
引き続き格別のご理解とご支援を賜り  
ますようお願い申し上げます。**

- (5) 主要な事業内容**
- (6) 主要な営業所及び工場**
- (7) 使用人の状況**
- (8) 主要な借入先の状況**

## 2. 会社の現況

- (1) 株式の状況
- (2) 新株予約権等の状況
- (3) 会社役員者の状況
- (4) 会計監査人の状況
- (5) 業務の適正を確保するための体制  
及び当該体制の運用状況

# 第114期 連結計算書類及び 計算書類の内容のご報告

**数値：億円単位**

**(小数点以下は四捨五入)**

# 連結計算書類

	第113期	第114期	増減
流動資産	1,697	1,971	274
固定資産	756	1,007	251
有形固定資産	603	643	40
無形固定資産	36	35	△ 1
投資その他の資産	117	329	212
資産合計	2,453	2,978	524

【単位：億円】

【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

### 資産の部：主要な変動要因

- ◆投資有価証券：212億円増加
- ◆受取手形及び売掛金：168億円増加
- ◆たな卸資産：89億円増加

	第113期	第114期	増減	【単位：億円】
負債合計	1,404	1,437	33	
流動負債	1,160	1,188	29	
固定負債	244	248	4	
純資産合計	1,049	1,541	492	
負債純資産合計	2,453	2,978	524	

【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

### 負債の部：主要な変動要因

- ◆支払手形及び買掛金 : 67億円増加
- ◆流動負債その他 : 25億円増加
- ◆長期借入金 : 16億円増加
- ◆短期借入金 : 87億円減少

### 純資産の部：主要な変動要因

- ◆利益剰余金 : 334億円増加
- ◆その他の包括利益累計額 : 154億円増加

(単位：億円)

	第113期	第114期	増 減
売上高	2,318	2,493	+174
営業利益	295	354	+59
経常利益	297	369	+72
親会社株主に 帰属する 当期純利益	245	359	+114

# 連結株主資本等変動計算書 について

# 計算書類（当社単体）

## 貸借対照表

	第113期	第114期	増減
<b>（資産の部）</b>			
流動資産	1,080	1,254	174
固定資産	644	875	231
<b>資産合計</b>	<b>1,724</b>	<b>2,130</b>	<b>405</b>
<b>（負債の部）</b>			
流動負債	956	932	△ 24
固定負債	135	147	12
<b>負債合計</b>	<b>1,091</b>	<b>1,079</b>	<b>△ 11</b>
<b>（純資産の部）</b>			
株主資本	629	901	272
評価・換算差額等	5	149	145
<b>純資産合計</b>	<b>633</b>	<b>1,050</b>	<b>417</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>1,724</b>	<b>2,130</b>	<b>405</b>

【単位：億円】



【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

## 損益計算書

	第114期
売上高	1,485
営業利益	189
経常利益	240
当期純利益	297

【単位：億円】

# 株主資本等変動計算書 （当社単体） について

# 議案の上程

## 第1号議案 剰余金の処分の件

### ■配当基本方針

- ▶ 株主の皆様への利益配分を最も重要な政策の一つと認識しております。
- ▶ 設備投資動向の変動・技術革新の著しい業界にあり、当社は更なる研究開発投資や財務基盤の強化に必要な内部留保の充実を図っていくことが更なる企業価値の向上のために必要と認識しております。
- ▶ 株主の皆様への利益配当に関する基本方針として、財務基盤の状況や各年度の連結業績及び配当性向等を総合的に勘案して実施していくこととしております。

## 第1号議案 剰余金の処分の件

### ■期末配当

前期に比べ45円増配、

1株につき金95円といたしたいと存じます。

## 第2号議案 取締役10名選任の件

### [取締役候補者 (10名)]

いわした

**岩下**

おびなた

**小日向**

もとよし

**本吉**

ペク

**白**

さとう

**佐藤**

いしぐろ

**石黒**

せつお

**節生**

ひさはる

**久治**

みつる

**光**

チョンヨル

**忠烈**

しげみつ

**重光**

まさひこ

**雅彦**

みはやし

**御林**

うちだ

**内田**

いしだ

**石田**

なかじま

**中島**

あきら

**彰**

のりお

**憲男**

こうぞう

**耕三**

よしみ

**好美**

(社外取締役)

(社外取締役) (独立役員)

(社外取締役) (独立役員)

(社外取締役) (独立役員)

◆指名報酬等委員会への諮問手続きを経ております。

## 第3号議案 監査役1名選任の件

### [監査役候補者（1名）]

やはぎ

みつる

**矢作**

**充**

◆監査役会の同意を得ております。

# <決議事項>

## 第4号議案 補欠監査役1名選任の件

### [補欠監査役候補者（1名）]

のなか

たかお

**野中 孝男**

（補欠社外監査役）（独立役員）

◆ 監査役会の同意を得ております。

## 第5号議案 取締役の報酬額改定の件

### ■ 取締役の報酬額改定

#### 【現行】

年額 5億円以内（うち社外取締役分3千万円以内）

#### 【改定案】

年額 5億円以内（うち社外取締役分6千万円以内）

◆ 指名報酬等委員会への諮問手続きを経ております。

**第 1 号議案 剰余金の処分の件**

**第 2 号議案 取締役10名選任の件**

**第 3 号議案 監査役 1 名選任の件**

**第 4 号議案 補欠監査役 1 名選任の件**

**第 5 号議案 取締役の報酬額改定の件**

**本日は、まことに  
ありがとうございました。**

**ULVAC**

**◆ 将来見通しに関する記述についての注意事項**

このプレゼンテーション資料で述べられている将来の当社に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。当社グループのお客様であるフラットパネルディスプレイ（FPD）・半導体・太陽電池・電子部品などの業界は技術革新のスピードが大変速く、競争の激しい業界です。

また、世界経済、為替レートの変動、FPD・半導体・電子部品・原材料などの市況、設備投資の動向など、当社グループの業績に直接的・間接的に影響を与える様々な外部要因があります。したがって、実際の売上高および利益は、このプレゼンテーション資料に記載されている予想数値とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。